

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑤児童期（6歳～12歳）の生活と発達

- ◆ この時期の子どもの発達を理解するためには、どんな生活を送っているのかその子の生活理解が必要不可欠ということを動画を通して学んだ。同じ年の子でも、家庭の事情や周りの環境において、様々な境遇の子がいる。一人ひとりの心身の状態を把握しながら、大人との信頼関係を築くことができる育成支援ができれば、その子の未来はきっと明るくなると思う、そういう関わり方ができる大人になりたいと思った。
- ◆ 子どもの能力の発揮の仕方は環境や身体の影響を受けやすく、運動能力や言語能力は安定しているものではない。その子の家庭、学校、地域社会でどのように過ごしているかという視点を持つことが、発達理解や支援には必要不可欠である。大人との安定した信頼関係の下で、「学習」「遊び」等の活動、十分な「休息」「睡眠」「食事」等が保障されることによって、子どもは安心して生活し、育つことができる。同時に、日々の実践を振り返る時間を持ちたいと思いました。
- ◆ 今回の科目を学び、発達に関しての歴史とともに、児童期の発達について、より理解を深めることができた。また、ヤングケアラーに関する映像を見て、生態学的システム理論について、具体的に理解することができた。子どもの発達には家庭や学校などの生活が大きく関わっていることを知ることができた。生活の中で児童クラブでの生活も子どもの発達に関わる時間であると思うので、良い環境づくりに務めていきたい。
- ◆ 子どもの発達を理解するには、その子どもの環境や生活について理解し、大人との信頼関係を持つことで安定した日常を送ることができるのだと理解しました。特に、小学校へと上がる段階で、環境、生活、日常そのものが全て今までと異なるので、子どもにとって大きな不安が出る時期であるからこそ、一人ひとりに気を配る必要があると思いました。信頼できる大人のケアがあるからこそ、豊かな生活を送ることが出来ると思います。
- ◆ 子どもが家庭や学校、地域社会の中で発達する。この言葉がとても心に残りました。今はなかなか家庭や学校での過ごし方の情報が少ないため、学童での子どもたちの姿しか知りません。気にかかる行動を取る子が、家庭では？学校では？と思うことが日々あります。どのように接し、話したらいいのかを悩みながら子どもたちと接しています。